学校番号	123

平成 31 年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅲ　（教育出版）						
副教材等	硬筆練習帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅲにおいては、技術を磨くだけでなく更に個性を伸ばし自己表現することに重点をおきます。一人一人の能力や特性を生かしていく為に、各自で古典や題材などを考えて制作する授業になります。また、個人制作だけでなくグループ制作や批評会などで、１つの目標に向かって協力したり、他の人の感性と自分の感性を重ね合わせたり、比べたりする体験をしてください。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技術	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の文化や伝統についての理解を深め、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしている。	書の学習を通して個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫している。	個性豊かな表現をするために幅広い表現理論と技能を身につけている。	書の歴史や文化について理解し鑑賞の活動の中で書の美を分析的・統合的に捉え、そのよさや美しさを味わっている。
評価方法	観察 レポート 授業ファイル 作品提出	観察 レポート 授業ファイル 作品提出	観察 レポート 授業ファイル 作品提出	観察 レポート 授業ファイル 作品提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書	・古典を各自が決める ・半紙6字書の臨書 ・画仙紙への臨書 ・表具(パネル仕立て)をする ・相互に評価する	○		○	○	a:多様な楷書表現を理解し、古典を選び学習するための表現技法を習得している。 b:古典や題材構成等が各自の感性に基づいている。 c:各自が選んだ古典を表現する為の技能が身についている。 d:自己作品と他者作品を鑑賞してそれぞれの良さや美しさを味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品
2学期	漢字仮名交じりの書	・題材の詩文を各自が自由に選ぶ ・選んだ詩文の効果的な書体や構成を考える ・全紙 1/3 サイズの作品をパネルに仕立てる ・相互に評価する	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動に関心を持ち、意欲的に取組もうとしている。 b:書きたい言葉を相手に伝えるための効果的な表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付けている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品
3学期	刻字の書	・グループで題材を決める ・作品の形式、構成、用筆、字形等を決める ・スクラッチタイルに協同して刻す ・相互に評価する	○	○	○		a:語句の選定から感性まで関心を持ち、意欲的に取組めている。 b:刻字を学習し、創作することで立体的な表現を楽しみ、書の表現の幅の広さを理解する。 c:毛筆とは違う刀による書の表現の技能を身に付けている。 d:共同制作で目標を達成しお互いに協力することで書のよさや美しさを味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。